

保安レベルの維持向上への取組み (優良販売業者編)



松江ガス供給株式会社 常務取締役

曾田 悟

1 会社概要

松江ガス供給(株) (以下、「当社」) は、1975年9月に島根県松江市内のガス会社28社が出資し、公共物件のガス小売事業を主体業務としたガス会社として設立された、全国的にも珍しい会社である。

現在では、松江市以外のガス小売事業者も加入して、31社の株主構成からなる資本金4,000万円の会社である。事業内容は、LPガス販売業、ガス小売事業、管工事、土木工事、都市ガス工事、水道工事、電気工事、空調工事、電気製品の販売と幅広く事業展開を行っている。

また、2006年8月からLPガスの集中監視システムを再活用したガス保安、機械警備、高齢者「弱者」支援のサービスも、行政と連携を取り展開している。

2 表彰履歴

- 2003年10月 高圧ガス優良事業所 島根県知事表彰
- 2007年5月 社団法人「小さな親切」運動本部 代表 田中義具
- 2008年10月 経済産業省原子力安全・保安院長表彰 ガス保安功労者

「工場等」

- 2018年10月 高圧ガス保安協会会長表彰
優良販売業者

3 表彰履歴 (個人)

- 2008年10月 経済産業省原子力安全・保安院長表彰 ガス保安功労者
「個人 ガス主任技術者」
- 2011年10月 島根県知事表彰 高圧ガス保安功労者
- 2013年5月 島根県LPガス協会松江支部長表彰 感謝状
- 2013年10月 高圧ガス保安協会会長表彰
保安功労者
- 2014年6月 (一社) 日本コミュニティーガス協会会長表彰 功労賞
- 2016年5月 (一社) 全国LPガス協会会長表彰 人材育成貢献者
- 2016年10月 (一社) 島根県LPガス協会会長表彰 保安関係等功労者

4 保安に対する考え方

液化石油ガスの保安の確保及び取引の適正化に関する法規集の第34次改訂版が、本年1月4日に発行された。改めて、第1章総則

[目的] 第一条の法律を見ると、「一般消費者等に対する液化石油ガスの販売、液化石油ガス機器等の製造及び販売等を規制することによる災害を防止するとともに液化石油ガスの取引を適正にし、もって公共の福祉を増進する事を目的とする」と記載されている。

このことは、企業活動を遂行する上で法令順守に努め公正な取引を販売業者等に行わせ消費者保護を目的とした法律と解釈している。

同法の施行後51年が経過したが、現在では、住宅環境の向上、消費機器の向上、供給機器の向上、インフラの発達、生活の向上、導管継手等の向上とともにガス事故・CO中毒事故等を踏まえて法、施行令、規則等が改正され現在に至っていると考えている。

今後は日常的な法令順守の他に、近年相次いで起こる自然災害（地震、津波、集中豪雨、猛暑等）にも対応・対策する必要がある。

これは、自主保安に対する考えに加えて、企業としての使命感・責任感を持ち機動力を備えることがLPガス販売事業者の責務と考えるからである。また、数ある当社の営業品目の中で、一番の商品が「法令順守」と言えるように常日頃心掛けて社員教育を行っている。

5 保安活動

保安活動については、1998年に、開放式小型ガス瞬間湯沸器の不完全燃焼防止装置付きへの機器取り替えをすべて終わらせた。また、同時期にコンロ等のLPガスゴム管を個人宅ならびに住宅供給公社に提案して、全戸燃焼器用迅速継手付ホースに取り替え、保安の向上に繋がった。2004年には、集合住宅のボンベ庫の容器をバルク貯槽に切り替える

工事を行った。これにより安全性・美観の向上、配送の合理化に繋がった。また、島根県LPガス協会松江支部による炊き出し訓練が4年前から実施されているが、その際に災害時に備えた活動の一環として毎回社員を参加させている。

次に地震対策・埋設管腐食対策として2002年には、全集合団地埋設導管のPE化を行った。

さらに社員教育の一環として各種講習会、セミナーに社員を参加させスキルアップに努めている。さらに当社は営業品目が多いため、各種資格取得の奨励を行っている。ガスに関する資格はもとより、それ以外に第2種電気工事士・給水装置工事主任技術者、工事担任者、一級管工事施行管理技士、二級土木施工管理技士、甲種ガス主任技術者等の資格を取得させ今後の事業展開に力を注いでいる。

次に当社が2006年より本格的に導入したLPガス集中監視システムを再活用したセキュリティサービス [ライフサポート24] について紹介する。従来のLPガス集中監視システムは、お客様に対してメリットがほとんどなく【ガスが切れないように監視します。検針を自動で行います。異常時に保安情報を連絡します】—これは当たり前のことなので、伝送装置のあまったポートにALSOK直通の緊急通報ボタン・ALSOKシール・オプションで火災警報器・生活支援ボタンを設置した取組みを行政とも連携して行っている。今後少子・高齢化が進んで行く中で時代に即応した取組みで、全国から注目されている。

当社のLPガス集中監視システムの設置率は92%であるが、そのうちホームセキュリティ（非常用ボタン+ALSOKシール）付の設置率は集合住宅で97%、戸建（オプシ

ョン付も含む)が27%である。これにより、お客様の体調不良、悪質な訪問販売、身に危険が迫った時に活用できる。また、緊急時にはALSOKが原則25分以内に駆けつけることになっている。

警備商品を扱う関係で、管理職は上級救命講習を受講して救命技能を習得し、万が一の場合に対応がとれるように教育している。今後増加して行く孤独死の対策、治安の悪化等を考慮すれば、お客様に恩返しができると考えている。

6 今後の抱負

保安の確保は、日々の積み重ねだと考えて

いる。保安の高度化が求められる中、消費者からの信頼の確保も同時に求められている。今後も監督官庁のご助言等を基に初心に帰り法令順守に努める考えである。

今期は特に、ボンベチェーンの二重掛け、張力式ガス放出防止型高圧ホースの交換作業に取り組んでいる。

最後に、LPガスが安全で安心して使用できるエネルギーとして、今まで以上に保安対策に努め、今後も高齢者・弱者対策を進めて行く覚悟である。私も各協会等の講習会に講師の立場で参加しており、保安教育の一環として、微力ながら貢献できればと考えている。

曾田 悟 (そた さとる)

